

第10回全員協議会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年12月21日（金曜）		午前10時45分 開会
	休 憩		
会議場所	本会議場		
出席議員 氏 名	副議長 常通 直人	議 員 鈴木 健充	議 員 堀切 忠
	議 員 西尾 一則	議 員 中村 和宏	議 員 橋本 和仁
	議 員 柴田 正博	議 員 立川 美穂	議 員 黒田 栄継
	議 員 正村紀美子	議 員 梶澤 幸治	
	議 員 寺町 平一	議 員 渡辺洋一郎	
欠席議員 氏 名	議 長 早苗 豊		
	議 員 中田智恵子		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

副議長が開会を告げ、早苗議長及び中田議員の欠席及び西尾議員の遅さんを報告し、芽室町議会会議条例等運用規則第 33 条第 5 項の規定に基づき副議長が議長の職務を担うことを告げ、事務局が日程を説明し協議する。

2 議 件

(1) 協議事項

- ア 令和5年度議会費予算案について 資料1
- イ 議会報告と町民との意見交換会実施要領案について 資料2
- ウ 白樺高校（1学年）との連携事業実施要領案について 資料3
- エ 議会モニター会議の総括について 資料4
- オ 多様な議員のなり手（議長諮問事項）について 資料5

3 その他

2 議 件

(1) 協議事項

- ア 令和5年度議会費予算案について 資料1
 - ・総務係長：資料説明（事務事業の統合による予算編成事項、改選期に伴う新規予算計上事項等）
 - ・副議長：質疑、意見はないか？
 - ・立川委員：オンライン関連の予算計上の検討経過は？

- ・総務係長：事務レベルの予算協議においては、議会費にオンラインの議会専用機器の整備関連予算を要求したが、全庁的なDXとして取り組むことになったため、計上はない。
- ・立川議員：次年度への予算反映の可能性は？
- ・総務係長：次年度への確定ではなく、今後の検討となった。
- ・寺町議員：資料の体裁（積算根拠の欄）がみにくいので修正できないか？
- ・総務係長：タブレット機器の表示上の問題として、御理解いただきたい。改善に向けて検討はしたい。
- ・副議長：他にないか？
- ・（質疑・意見なし）い
- ・副議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・副議長：提案のとおり決定する。

イ 議会報告と町民との意見交換会実施要領案について 資料2

- ・事務局長：前回（第9回）の全員協議会（12月1日開催）における協議結果を踏まえて、議運の担当委員が学校等と協議するなど、改めて整理した実施要領案である。前回の全協で説明したとおり、今年度の事業は先方との事前協議により、コロナの状況を鑑みて「対面等の意見交換」ではなく「アンケートによる意見聴取」となった。そのため、特筆すべき説明事項は、「資料2-1」の「4：事業概要」の（7）及び（8）に記載のアンケート実施期間とアンケート活用方法及び「資料2-2」のアンケートである。本日の協議の趣旨は、この案について、合意形成を図ることであり、その後、速やかに事業を進めたい議運の考えである。なお、アンケートの手法は、紙ベースではなくWeb方式とし、具体的には各学校の教頭先生を經由してURLを送付し、PTA役員を対象に事業実施要領の送付とアンケート回答を依頼するものである。
- ・副議長：「資料2-1」について、意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・副議長：「資料2-2」について、意見・質疑はないか？
- ・立川議員：「設問1」について、「4：若者支援（専門学校・大学生）」の表記に「等」を付けてはいかがか？
- ・渡辺議員：御意見を反映させたい。
- ・中村議員：各議員の御意見を伺い、決定したい。
- ・梶沢議員：軽微な変更なので、議運に一任して良い。
- ・副議長：他に意見はないか？
- ・（意見なし）
- ・副議長：一部修正し、提案内容のとおり決定する。

ウ 白樺高校（1学年）との連携事業実施要領案について 資料3

- ・事務局長：第2回全員協議会（6月1日開催）で決定した今年度の事業方針に基づ

き、現時点での先方との協議状況について共有したい。昨年と同様の事業となり、「4」の日程で、「5」の議会の役割分担で臨む予定である。なお、学校との詳細協議は年末年始を終えてからとなるため、また、次回の全員協議会も1月下旬の予定が想定されることから、この後の具体的な内容については、議運一任として事業要領を決定することの了解を得たい提案であることを申し添える。

- ・副議長：意見・質疑はないか？
- ・立川議員：イメージは、議場のみが会場か？
- ・中村議員：お見込みのとおりである。
- ・副議長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・副議長：説明のとおり決定する。

エ 議会モニター会議の総括について 資料4

- ・事務局長：去る12月7日に開催したモニター会議の総括について、議運において、各グループの意見交換報告内容を基に「6：議論のまとめ」として、3点（「議会内で共通認識を図った内容について」「令和4年度モニター会議のあり方について」「物価高騰に対する今後の支援策について」）に整理したので内容を確認いただき、議会内の共通認識として整理したい。
- ・副議長：「議論のまとめ」について、意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・副議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・副議長：提案のとおり決定する。

オ 多様な議員のなり手（議長諮問事項）について 資料5

- ・事務局長：第5回議会運営委員会（7月14日開催）を皮切りに、約5か月をかけて議運の議論や全員協議会での協議を重ね、さらには議員研修（10月5日開催）での議員間討議、モニター会議（12月7日開催）での意見交換なども経て、議運としての最終答申案を整理するまでに至った。本日は全議員で共通認識を図りたい。本日、合意形成が図られた際は、後日、改めて議運で正式決定をし、議長への答申としたい。
- ・副議長：意見・質疑はないか？
- ・梶沢議員：答申項目の「議員養成講座等の開催」の表現をソフトをなイメージに修正してはいかがか？
- ・立川議員：同感である。趣旨は一定理解するが、議員共通の認識となっていないため修正してはいかがか？
- ・梶沢議員：「議員養成講座等の開催」の説明文を見ると、過去の活性化計画に位置付けた「多様な住民参加の創出」のようなタイトルがぴったりくるのではないか。
- ・正村議員：この項目を記載している経過は、これまで議会で検討してきたものである。

- ・黒田委員：10月の議員研修における議員間討議の際に整理した表記を、継続して記載しているものであり、説明文は、モニター会議での意見を記載したものである。修正のご意見は理解できるものである。
- ・梶沢議員：町民にとってわかりやすいものであるというのが、重要な視点と考える。
- ・橋本議員：「議員養成講座」の表現は修正すべき。説明文と一致していない。
- ・堀切議員：同感である。「養成講座」受講が議員になる条件として、誤解を受ける不安もある。
- ・立川委員：「対話の場」のような表現はいかがか？
- ・寺町議員：各議員の意見に賛同する。
- ・梶沢議員：議運に一任して決定を委ねることで良い。
- ・中村議員：次回、議運で本日の御意見を踏まえて協議・決定したい。お諮りいただきたい。
- ・副議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・副議長：提案のとおり決定する。

3 その他

- ・副議長：「その他」で議員からないか？
- ・（なし）
- ・副議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和4年12月21日

芽室町議会副議長 常通 直人